



はっとり 服部のりふみ

服部紀史後援会事務所（自宅）
〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地
TEL/FAX 0573-43-3835
HP <https://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

定例会で議決された主な内容

専決処分

地方税法等の一部改正及び地域再生法における関係省令の改正に伴い、関係する以下の三つの条例をそれぞれ 3 月 31 日付で専決処分を行ったもの。

- ・恵那市税条例
- ・恵那市都市計画税条例
- ・恵那市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例

条例の一部改正（児童福祉法等の一部改正に伴うもの）

- ・恵那市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

条例の廃止

恵那市岩村地域特産物販売施設条例

その他の議案

岩村分団及び上矢作分団に配備する消防ポンプ自動車等の契約の締結及び新規市道として飯地町地内の 2 路線を市道認定するもの。

補正予算（その 1）

一般会計 2 億 2,308 万円の増（補正後 311 億 6,308 万 4 千円）

<主な内容>

緊急対応を要する事業 785 万 5 千円

- ・共同福祉会館の修繕 622 万 6 千円
- ・消防車両の修繕 162 万 9 千円

国庫・県支出金・寄付金等の財源を活用した事業 2 億 1,522 万 9 千円

- ・自動運転実証実験事業 1 億 5,366 万 5 千円
- ・武並地域自治区へのコミュニティ活動備品費助成 484 万円
- ・青少年育成事業につなげるラリーレガシー創造事業 950 万円
- ・恵那市及び岩村福祉センターの設備修繕 229 万 5 千円
- ・岩村学童保育実施のための岩小ランチルーム改築 1,198 万 2 千円
- ・ペットボトル地域回収拠点整備 916 万 1 千円
- ・ロケツーリズムえな推進協議会への支援 1,120 万円
- ・大規模盛土調査費用 1,000 万円

補正予算（その 2）

一般会計 795 万 7 千円の増（補正後 311 億 7,104 万 1 千円）

- ・東濃 5 市未来のまちづくり協議会負担金 300 万円
- ・消防団災害活動用小型車両購入 495 万 7 千円

気になるトピックス

自動運転実証実験が岩村地内で継続実施されます。

本年度、車両を購入し昨年度に引き続き、岩村町地内でレベル 2 からレベル 4 に向けた実証実験が本年度も継続実施されます。一日も早い実用化に繋がればと期待するものです。地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。



岩村学童保育環境改善のための改築工事が始まります。

現在、町内の 2 ヶ所で実施されている学童保育は、利用保護者からの要望により、岩邑小学校ランチルームへの統合の方針が示されていましたが、今回の補正予算で予算化され、早ければ 3 学期から、遅くとも来年度からの利用が可能となります。

6月議会のトピックス

- 各務美穂議員に対する辞職勧告が発議され可決
- 一般会計の補正予算（その 1）は 2 億 2,308 万円の増額
- 一般会計の補正予算（その 2）は 795 万 7 千円の増額
- 恵那市岩村地域特産物販売所の設置条例が廃止

各務美穂議員に対する辞職勧告について

議会最終日において、緊急動議にて下記の内容の発議がなされ可決されました。

各務美穂議員に対する議員辞職勧告決議（全文）

冒頭、本件がこのような事態に至ったことについて、恵那市議会として誠に遺憾に存する。市議会に対する市民の信頼回復と本件の早期終結を図るため、本決議案を提出するものである。

各務美穂議員については、恵那市議会政治倫理要綱違反の疑いにより、令和 7 年 9 月 11 日付で政治倫理委員会に付託された。委員会は速やかに設置され、計 4 回にわたる審査を経て、同年 10 月 6 日に審査結果が取りまとめられた。

その結果、岩村学童クラブ父母会会長職を務めた事実については厳重注意とされ、「かかみ みほ通信」における虚偽記載等については、速やかに誤解を与えた部分を明確にした訂正資料を作成し、従前と同様の範囲に配布すること、ならびに今後同様の事態を防止するため議員ハンドブックの精読が求められた。また、附帯意見においては、疑問点に対する本人の説明が不十分であり、疑念が解消されないままであったことが指摘された。

その後、同年 10 月 21 日に開催された議員総会において審査結果が報告され、各務議員に対する質疑が行われたが、質問に対する明確な答弁はなされず、過去の発言との齟齬も見受けられた。また、自らの見解を十分に示すことができない状況が続き、会議はやむなく打ち切られた。

さらに、令和 8 年 3 月 24 日に開催された議員総会においても同様に真意を確認する質疑が行われたが、状況に進展は見られず、質問事項を整理のうえ文書による回答を求めることとして会議は終了した。

同年 5 月 18 日に開催された議員総会においては、提出された回答書について説明がなされたものの、質疑に対する誠実な対応は見られず、疑念を解消するには至らなかった。また、過去の説明と異なる記述も確認され、当該回答書の信頼性にも疑義が生じたため、これ以上の審議継続は困難と判断され、会議は打ち切られた。

以上の経過により、各務美穂議員には、自らの行為に対する反省及び市議会議員として最も重要な責務である説明責任を果たそうとする姿勢が著しく欠如していると言わざるを得ない。また、本件は長期間にわたり解決に至らず、事態収束に向けた積極的な姿勢も十分に認められない。

このような状況のもとで議員活動を継続することは、同様の事態の再発を招くおそれがあるのみならず、恵那市議会に対する市民の信頼を著しく損なうものであり、断じて看過できない。

よって、本市議会は、各務美穂議員に対し、速やかにその職を辞することを強く勧告する。

以上、決議する。

恵那市議会

議会以外の主な議員活動

4月8日（水）恵那南中学校入学式



第1回の入学式に恵南地域の議員が一堂に会し来賓として出席しました。新しい校歌の斉唱には、まだぎこちなさが伺え、新鮮さを感じました。98名の新入生を迎え、在校生と共に、恵那南中学校らしい校風づくりに取り組んでいただきたいと思います。

4月11日（土）自民党恵那支部役員総会



自民党恵那支部の役員総会が、例年より早い時期に開催され、全ての議案が承認されました。来年に予定されている県議会議員選挙には、水野正敏氏を引き続き候補者として承認されました。また、来賓の古屋圭司代議士からは国会の近況報告がありました。

5月3日（日）憲法と現代日本を考えるつどい



憲法と現代日本を考えるつどいに一昨年に続き今年も参加しました。フォーラムでは、近年の国連中心主義が崩壊の危機に瀕している状況を鑑み、自衛隊の明記や緊急事態条項の創設に向けた審議の促進と、一刻も早い憲法改正案の作成を呼びかける声明文が承認されました。

5月19日（火）～21日（木）新政会行政視察



一日目は、JALの羽田空港内でのレベル4の運行状況を視察し、二日目は、つくば市の研究学園都市によるまちづくりを視察。三日目は、東武鉄道の鬼怒川線でのSLの運行状況を視察しました。いずれも恵那市での取組の参考となるものでした。

5月23日（土）自民党岐阜県支部連合会の定期大会



県内各支部から約1,200名が参加し開催されました。来年に予定されている統一地方選挙（恵那市では県議会議員選挙）に向けた対策が確認され、また、記念講演では、片山さつき財務大臣から、国の責任ある積極財政について講演をしていただきました。

5月30日（土）WRC岩村リエゾン



今回は、岩村リエゾン本部に一日中詰めました。恵那南中学校の生徒のボランティアの頑張りで、お菓子以外のオフィシャルグッズを売り切ることができました。中学生のボランティアの皆さん、ありがとうございました。

6月6日（土）瑞浪恵那道路整備促進協議会定期総会



瑞浪恵那道路整備促進協議会の定期総会並びに事業推進大会が、瑞浪市の当番で開催されました。工事は順調に進捗しており、総会決議ではこれを受けるかたちで、一日も早い全線開通を目指し運動を継続していくことが確認されました。

6月20日（土）参議院議員、渡辺たけゆき君を励ます会



渡辺たけゆき君を励ます会に、新政会から数名で参加しました。現在、自民党の幹事長代理として精力的に活動されておられ、引き続き高市政権を支えていきたいと力強く述べられました。また、特別講演では、小林鷹之自民党政調会長から貴重な話が聴けました。

一般質問の概要

今回の一般質問では、私が政策テーマとしている「希望のもてる地域づくり」から、今年度からスタートした第3次恵那市総合計画に掲げられ人口減少対策として最も重要であると考え「土地利用構想」の実現に向け、特に重要な要素と考える住宅施策の観点から市の考えを伺いました。以下に、質問と答弁の重要な部分に焦点を当てお知らせします。

◎住宅団地開発支援制度の見直しの考えについて

これまでの宅地開発の状況は、旧恵那市にあたる都市計画区域では、平成27年から令和5年までの9年間に於ける宅地開発が20件に対し、都市計画区域外である旧恵南地域は0件と、地域差には歴然としたものがあります。

このような現状を鑑み、地域差の原因や住宅団地開発支援制度の見直しの考えは？

（回答）

事業者等に意見を伺い、ニーズとシーズのミスマッチの解消など、現状分析を行い、バランスの取れた住宅施策となるように検討したい。また、旧恵南地域におけるニーズを把握し、支援制度の見直しについて検討を進めたい。

答弁者：建設部長

◎開発の促進としての規制緩和の考えについて

市町村合併により旧恵南地域は、開発に関する届け出が条例により1,000㎡以上とされました。宅建協会からは、旧恵南地域については3,000㎡以上への緩和の要望が過去にあったようですが、この規制緩和に対する市の考えは？

（回答）

開発の促進を目的とした面積の見直しは、安心安全な市民生活を守る観点と事業者のニーズ等を考慮し検討する必要があり、開発の促進策としては、恵那市民間分譲住宅地開発支援補助金の補助対象工事の見直し及び補助金上限額の見直し等で事業者の負担を軽減し促進できないか、事業者のニーズ等を考慮したうえで検討したい。

答弁者：建設部長

議事を終えて

各務議員への辞職勧告が議会最終日に発議され可決されました。本人から謝罪がありましたが、なぜ、最初からそのような真摯な対応ができなかったのか。一年近くも長期化してしまい、未だに終結をみないその状況を問題視しているのに、その釈明はありませんでした。この間、周りの議員からは様々なアドバイスや忠告があっても聞き入れられなかったその姿勢は、一期生の同僚議員からの賛成討論からも伺えました。今回の勧告を厳粛に受け止め、後援会や支援者の方々ともよく相談し賢明な判断を望みたいと思います。

インフォメーション

取り組みの詳細や日々の活動は、以下からご覧ください。

○ウェブサイト <https://ccm.enat.jp>

○Facebook

○Instagram

※ 後援会への入会は随時受け付けしています。入会はウェブサイトからお願いします。

※ 次回は、9月議会終了後に発行する予定です。

※ ご意見、ご感想をお聞かせください。

